

Starter Pack DVDからのファームウェアアップデート手順

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書では、Starter Packからのファームウェアアップデートに関して補足いたします。

本バージョンのStarter Packにおいて、OS上ではなく、Starter Pack DVDから直接ファームウェアおよびシステムROMをアップデートする場合、次の手順に従ってください。

1. 事前準備

- (1) セキュアブート設定が有効になっているときは、いったん無効にします。

システムユーティリティから次の設定をしてください。

**System Configuration > BIOS/Platform Configuration(RBSU) >
Server Security > Secure Boot Settings >
Attempt Secure Boot : Disabled**

詳細は、「メンテナンスガイド(共通編)」を参照してください。

- (2) Trusted Platform Module(TPM)の設定「TPM Visibility」をいったん[Hidden]にします。

システムユーティリティから次の設定をしてください。

**System Configuration > BIOS/Platform Configuration(RBSU) >
Server Security > Trusted Platform Module Options >
TPM Visibility : Hidden**

詳細は、「メンテナンスガイド(共通編)」を参照してください。

「TPM Visibility」がグレーアウトされている場合は、

「Platform Certificate Support」(*1)を「Disabled」に設定してください。

(*1) 本設定は、モデルによって表示が異なります。「メンテナンスガイド(共通編)」を参照してください。

- (3) Windows(R) BitLocker(TM)機能を有効にしている場合、

いったん無効にしてから本手順を実行してください。アップデートが完了した後、再度有効にしてください。

無効にせずアップデートした場合、装置の起動時に「回復パスワード」が必要になることがあります。

- (4) iLOでSNMPv3アラート機能を使用している場合、

iLO Webインターフェイスにログインし、SNMPv3アラート機能の設定値をメモなどに記録しておきます。

2. ファームウェアアップデート

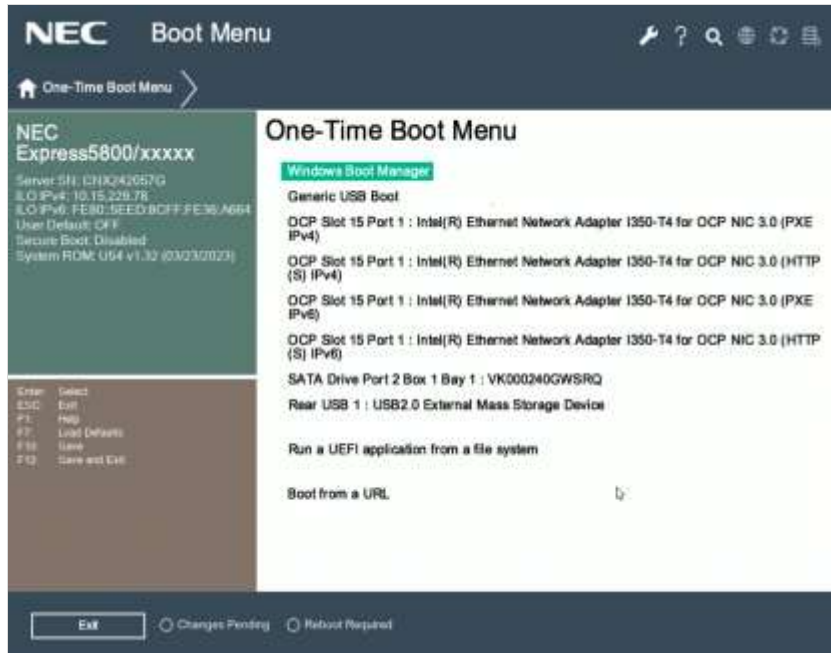
- (1) 対象サーバーにStarter Pack DVDをセットし、電源をオフ/オンするか、または<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押して再起動します。

次のように、POSTが始まります。



(2) POST実行中に<F11>キーを押します。

次のように、Boot Menuが表示されます。(環境によって表示が変わります)



(3) One-Time Boot Menuから(1)でセットしたDVDドライブを選択すると、Starter Pack DVDが起動し、次の画面が表示されます。

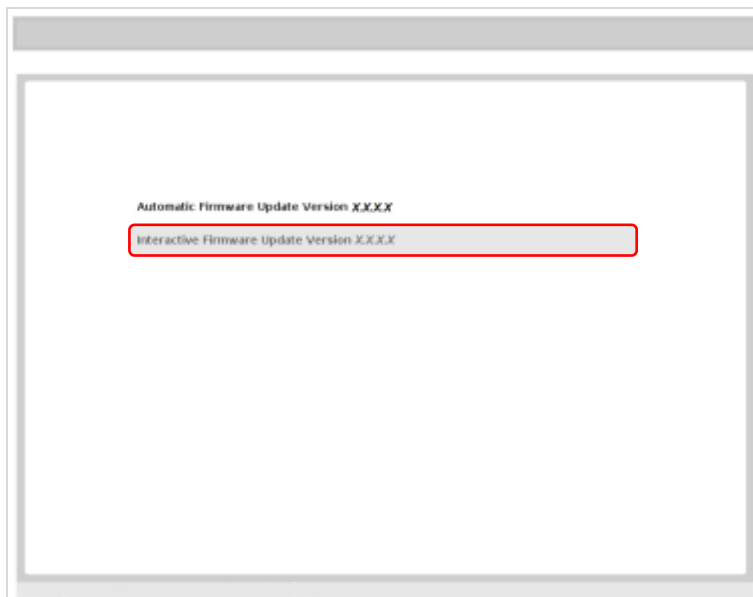


- (4) メニューの「Interactive Firmware Update」をカーソルキーで選択してから、
<Enter>キーを押します。

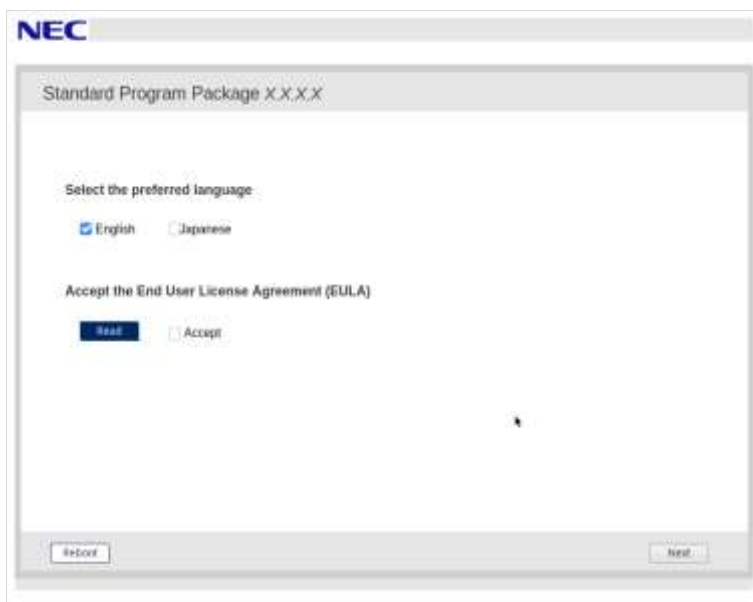
10秒以内に選択操作をしない場合は、一定時間経過後に

「Automatic Firmware Update」が選択され、自動的にアップデートが実行されます。

ご注意ください。



次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

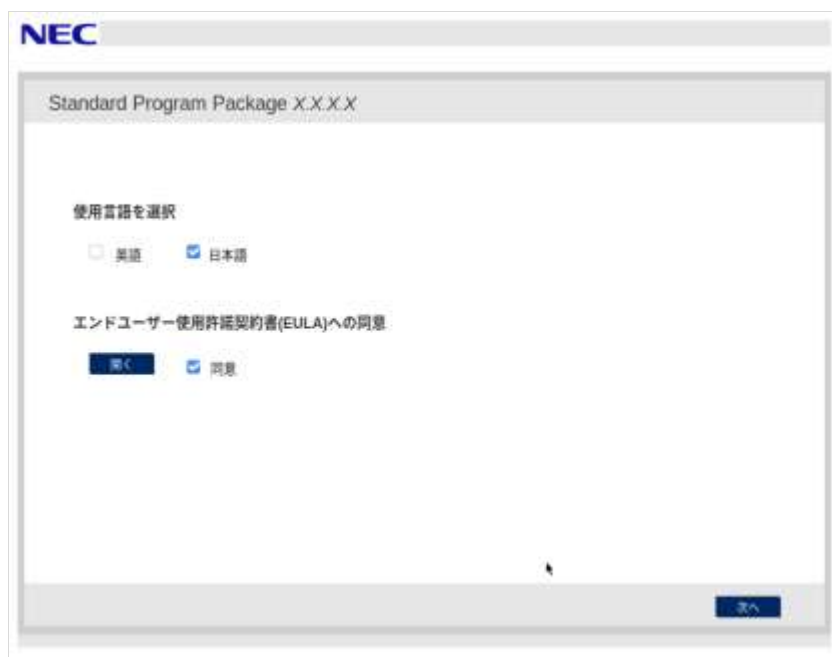


(5) 「Select the preferred language」で「Japanese」を選択します。

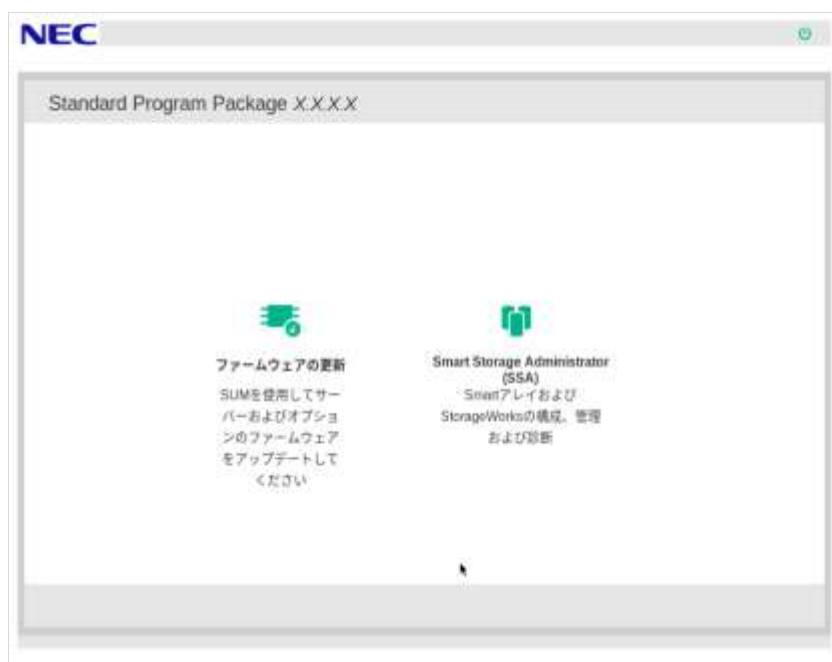
(6) 「エンドユーザー使用許諾契約書(EULA)への同意」で「開く」をクリックし、内容を確認して「承認」をクリックします。



(7) 画面右下の「次へ」をクリックします。



(8)「ファームウェアの更新」を選択します。



起動時にエラーが起きた場合、「トラブルシューティング」を参照して先に進めてください。

「ローカルホストガイドアップデート」の選択画面が表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」が選択されていることを確認し、そのまま「OK」を選択します。

(ここではiLOインストールキューを選択しないでください。)



「ローカルホストガイドアップデート」画面が表示され、「手順 1 インベントリ」が始まります。

以下の「インベントリ完了」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



画面左下の「次へ」をクリックします。

(9)「手順 2 レビュー」が表示されます。



次のように、ファームウェアの一覧が表示されます。

(環境によって表示されるファームウェアが異なります)

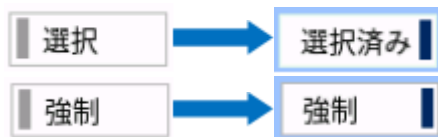


左のバーが青いファームウェアは、手順(11)でインストールを試みます。

(10) ファームウェア一覧から次のパッケージを探し、「コンポーネントを選択」の状態を確認します。

(i). **Online ROM Flash Component for Linux-iLO 6**

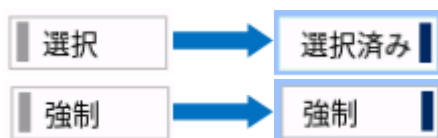
「選択」(灰色)または「強制」(灰色)の場合は、「選択済み」(青色)または「強制」(青色)に変更してください。



※ 「ダウングレード手順書」などに従い、ファームウェアをダウングレードするときは、同様に、手動で「選択済み」(青色)または「強制」(青色)に設定してください。

(ii). **Language Pack-Japanese**

「選択」(灰色)または「強制」(灰色)の場合は、「選択済み」(青色)または「強制」(青色)に変更してください。



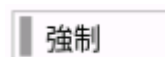
※ 「ダウングレード手順書」などに従い、ファームウェアをダウングレードするときは、同様に、手動で「選択済み」(青色)または「強制」(青色)に設定してください。

(iii). **HPE Firmware Flash for QLogic 32Gb and 64Gb Fibre Channel Host Bus Adapters**

「選択済み」(青色)の場合は、「選択」(灰色)に変更してください。



「強制」(灰色)の場合は、そのまま変更しないでください。



※ 「ダウングレード手順書」などに従い、ファームウェアをダウングレードするときは、同様に、手動で「選択」(灰色)または「強制」(灰色)に設定してください。

(11) ウィンドウ下部の「展開」をクリックすると「手順 3 展開」が始まります。

以下の「展開が完了しました」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



(12) ファームウェアのアップデートに成功したことを確認します。

コンポーネント名の左側に表示されるステータスアイコンが、緑色であることを確認してください。



※ アップデートに失敗した場合、「トラブルシューティング」を参照してください。

(13) Starter Pack DVDをDVDドライブから取り出し、画面左下の「再起動」をクリックします。

次の画面では「はい、再起動します」をクリックします。



(14) 再起動して、POST(Power on Self Test)が終了した後、システムROMが最新バージョンに更新されている場合は、手順(15)～(19)は不要です。
(20)へ進んでください。

最新バージョンの確認は、Starter Packを公開しているWebページ(「リリースノート > システムROM関連」)にある、対象装置のリリースノートを参照してください。

装置のシステムROMのバージョンは、以下のいずれかの手順で確認してください。

- (i). iLO Webインターフェイスにログインします。
- (ii). 「情報 > 概要 > サーバー」の[システムROM]の項目を確認します。

または、

- (i). System Utilitiesを起動します。
- (ii). 「System Information > Summary」の[System ROM]の項目を確認します。

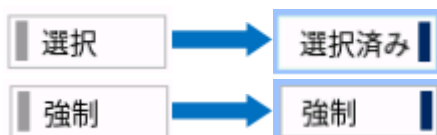
(15) 再度、手順(1)～(9)を実施して「手順 2 レビュー」の画面に進みます。



(16) ファームウェア一覧から「**ROM Flash Firmware Package - System ROM Uxx**」

を探し、「コンポーネントを選択」の状態を確認します。

「選択」(灰色)または「強制」(灰色)の場合は、「選択済み」(青色)または「強制」(青色)に変更してください。



この手順において、「ROM Flash Firmware Package - System ROM Uxx」以外のファームウェアの選択状態は変更しないようにしてください。

※ 「ダウングレード手順書」などに従い、ファームウェアをダウングレードするときは、同様に、手動で「選択済み」(青色)または「強制」(青色)に設定してください。

(17) ウィンドウ下部の「展開」をクリックすると「手順 3 展開」が始まります。

以下の「展開が完了しました」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



(18) ファームウェアのアップデートに成功したことを確認します。

コンポーネント名の左側に表示されるステータスアイコンが、緑色であることを確認してください。



- (19) DVDドライブからStarter Pack DVDを取り出し、画面左下の「再起動」をクリックします。
次の画面では、「はい、再起動します」をクリックします。



- (20) 「1. 事前準備」(1)でセキュアブート設定を無効にした場合、同様の手順で有効へ戻します。
- (21) 「1. 事前準備」(2)で「TPM Visibility」を[Hidden]に変更した場合、同様の手順で元の設定に戻します。
- (22) 「1. 事前準備」(3)でBitLocker(TM)機能を無効にした場合、同様の手順で有効へ戻します。

以上で、ファームウェアアップデートは完了です。

内蔵DVD-ROMドライブ[N8151-137]、内蔵DVD-Super MULTIドライブ[N8151-138]を使用している場合は、アップデート後、Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せない場合があります。

「トラブルシューティング」の「1. Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せなくなった場合」を参照し、DVDを取り出してください。

3. タイムゾーンの設定

- (1) 本ファームウェアのアップデート後、iLO Webインターフェイスにログインし、
「iLO専用ネットワークポート > SNTP > タイムゾーン」を
BIOS(RBSU)の「Date and Time > Time Zone」と同じ値に設定します。
(GMTはUTCに読み替えてください)

トラブルシューティング

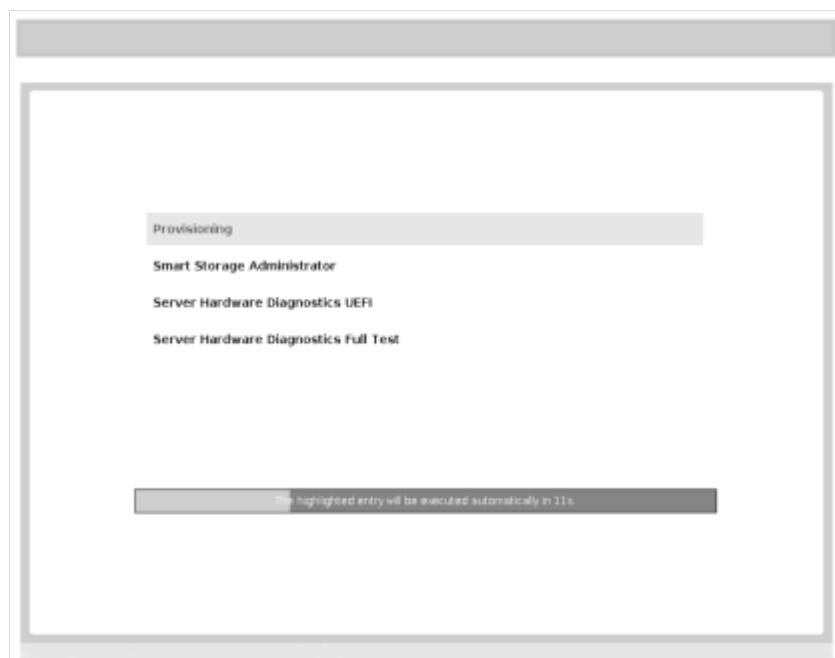
1. Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せなくなった場合

アップデート後にサーバーを再起動して、Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せなくなった場合、以下の手順に従って取り出してください。

- ① 電源をオフ/オンするか、または<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーで再起動します。
次のように、POSTが始まります。



- ② POST画面で<F10>キーを押します。次の画面が表示されます。



- ③ メニューの「Provisioning」を選択します。

何もキーを押さない場合、自動的に「Provisioning」が選択されます。

次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。



- ④ EXPRESSBUILDER起動後、DVDドライブのイジェクトボタンを押して、Starter Pack DVDを取り出します。

- ⑤ 右上の電源アイコンをクリックして「電源オフ」、または「システムの再起動」を選択します。



以上で作業は終了です。

2. 「Your connection is not secure」エラーが出てストップした場合

以下の手順に従って進めてください。



- ① 画面上の「Advanced」をクリックします。
- ② 画面上の「Add Exception...」をクリックします。
- ③ ポップアップした「Add Security Exception」画面で、
「Confirm Security Exception」をクリックします。

以上で作業は終了です。

3. コンポーネントのアップデートに失敗した場合

「2. ファームウェアアップデート」(12)でアップデートに失敗した場合、次のようにリトライしてください。

- ① 電源をオフにし、ACもいったん切ります。
ACオフができないときは、iLOリセットを実行してください。
- ② iLO Webインターフェイスから、
「Firmware & OS Software > Installation Queue」ページに移動します。
- ③ アップデートに失敗したコンポーネントがインストールキューに残っているときは、削除します。
- ④ 「2. ファームウェアアップデート」(1)から、リトライします。

以上で作業は終了です。